

南浜湿原だより

第1号

2005.7.9

発行：利尻島自然情報センター 利尻町沓形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 Tel/Fax 0163-84-3145



こんな湿原見たことない！

北海道には、大きな湿原として「サロベツ湿原」や「釧路湿原」が知られていますが、他にも中くらいの湿原がたくさんあります。それらに比べて、南浜湿原は広さ6ヘクタール程の小さな湿原です。でも、その前面にメヌシヨ口沼、後にすくとそびえる利尻山をのぞむ光景の美しさは、どの湿原にも引けを取らないものでしょう。

さて、南浜湿原にはミズゴケがたくさん生えています。ミズバショウもまた、たくさんあります。実は、これはとても不思議なことなのです。なぜなら、湿原は低層湿原、中間湿原、高層湿原といった、いくつかのタイプに分けられていて、あれほどミズゴケが良好に生えているのは高層湿原の特徴なのですが、低層湿原の特徴であるミズバショウもあるというのは、日本の湿原の中でも例がないというのです。

何気なく見ていた南浜湿原は、実はとても珍しい湿原だったのです。

2004年にしたこと

去年わたしたちは、この不思議な湿原でいくつかの調査をしました。湿原にどんな植物があるのか、地下水位がどのあたりにあるのか、気温や日射しの量、雨の量がどれくらいなのかといったことを調べて、その不思議さの秘密を知ることにより、利尻島の大切な財産として、未来へ引き継ぐために役立てようと思ったのです。調査はまだ続きますが、いくつかの興味深いことがわかりました。

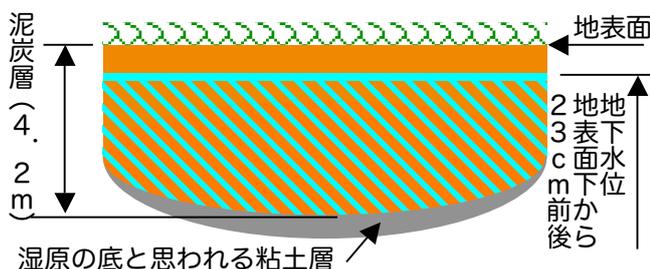
一つは、湿原を形成している泥炭の深さは約4.2メートルで、年代を測定したところ、湿原の形成は3千年前位から始まったということがわかりました。つまり、深さ4メートル程のくぼ地が、3千年という長い年数をかけて湿原に作られて来たと言うことです。

多くの湿原では、泥炭が1年で1ミリ堆積すると言われていて、この厚さなら4200年程度かかりそうなものですが、南浜湿原では堆積する早さが少し早いことがわかりました。

もう一つは、メヌシヨ口沼の深さです。かなり深そうだと噂とは違って、80センチ程しかありませんでした。

南浜湿原はこうなっています！

「高層湿原」と呼ばれる南浜湿原は、くぼ地に水がたまり、そこにはえていたヨシやスゲが枯れて水没し、くさらずにどんどん積み重なって泥炭となり、水面から盛り上がり、水の上に地面が出来たようなものです。



これは「ピートサンプラー」という器具を使って、地表面から50センチ間隔で湿原の泥炭を採取し、湿原の底まで達した様子です。左側の茶色い部分は泥炭層ですが、右側の黒っぽいのは、湿原の底と思われる粘土層です。

オオハンゴンソウという花のこと

南浜湿原が、どれほど貴重な湿原かは言うまでもありませんが、残念なことが一つあります。それは、メヌシヨ口沼周辺に生えている「オオハンゴンソウ」という植物です。下の写真は、8月中旬に湿原入り口から東側にかけて花を咲かせた時の様子です。



2004年8月28日

このオオハンゴンソウは、もともと利尻島にあったものではなくて、人の暮らしとともに利尻島に入り込んで来た「帰化植物」とか「外来植物」と呼ばれ、地域本来の植生や動物相を乱すことで、大きな問題になっています。とりわけ南浜湿原は、平地であったり、道路脇であったりするので、湿原の環境が変化しやすいのではと心配されています。実際、オオハンゴンソウがはびこった結果、湿原の植物が生えにくくなっています。

そんなことから、今年はメヌシヨ口沼周辺に生えているオオハンゴンソウを引き抜いたり、刈り取ったり、蕾の摘み取りをしようと、6月18日から除去作業を行っています。除去には年数がかかるかもしれませんが、根気良く続けて行こうと思っています。ちなみに、7月8日までに約2万本のオオハンゴンソウを除去しました。

作業は「利尻島自然情報センター」や「パークボランティア」と書かれた腕章をつけてしていますので、見かけた時には声をかけてくれたら嬉しいです。



2005年6月18日、最初の除去作業風景。訪れる観光客の方の「何をしてるの？」から、オオハンゴンソウのこと湿原のことでお喋りがはじまったりもしました。



お願いがあります

南浜湿原を、わたしが歩くようになって25年が経ちました。当時はガイドブックにも紹介されず、訪れる人も少ない静かな湿原でした。でも、その頃からずっと気になる湿原でした。大切な人や好きな人の幸せを願うような気持ちで、南浜湿原を思ってきたように思います。

そうして今、そんなことを思う仲間たちと「利尻島自然情報センター」として、南浜湿原のことを調べたり、その美しく豊かな環境が変わらないように、お手伝いしたいと考えました。わたしたちができることや、しようとしていることを、この『南浜湿原だより』で多くの方に伝え、南浜湿原を大切にしている南浜の人たちと一緒にそれができたら良いと思っています。どうか、よろしくお願いします。



沓形の種富湿原でオオハンゴンソウの根を掘り起こしてみました。引抜きをしても根茎はしっかりと残り、たくさんの葉や芽を出していて、かなりの厄介者のようです。